

# BERNARD BUFFET

## PRODIGY'S PROGRESS

## ベルナール・ビュフェ

偉才の行方

### 【開催概要】

佐川美術館では、秋季展覧会として「ベルナール・ビュフェ 偉才の行方」を開催いたします。

ベルナール・ビュフェ（1928-1999）は、黒い輪郭線とモノトーンに近い色づかいで、1940年代後半に独自のスタイルを確立します。彼の絵画は、見る人に驚き、不安、ショックを与えるだけでなく、第二次世界大戦で疲弊したフランス人の心を見事に映し出していると称讃されました。ビュフェはピカソに比肩する逸材と評され、その人気と名声は1950年代末にピークを迎えることになります。しかし1960年代になるとビュフェの評価は一変し、俗っぽい題材の選択や、時流に逆行する具象絵画へのこだわりが非難的となり、パリの美術界から排除されていきました。

1980年代、ビュフェの才能を称讃する声が再び聞こえ始めます。そして2016年、長らく封印されていた全生涯にわたる回顧展がパリで開催されるなど再評価の機運が高まり、今まさに「ビュフェ・リバイバルの時代」となっています。本展では、世界屈指のビュフェコレクションを有するベルナール・ビュフェ美術館の所蔵作品より、1940年代から最晩年にいたるビュフェ芸術を展覧します。20世紀最大のフランス人画家の一人と言われたビュフェの偉才をご覧ください。

### 広報画像 1



《ピエロの顔》1961年  
油彩、カンヴァス 100×81cm 静岡新聞社  
© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 X0447

### 展覧会実施概要

- ◆名 称：「ベルナール・ビュフェ 偉才の行方」
- ◆会 場：佐川美術館 特別展示室
- ◆会 期：2025年7月16日 [水] ～9月28日 [日]  
(前期展示：7/16～8/24 後期展示：8/26～9/28) ※会期中展示替を実施します
- ◆開館時間：午前9時30分 ～ 午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- ◆休館日：月曜日(7/21、8/11、9/15は開館)、7/22、8/12、9/16
- ◆入館料：一般¥1,300 / 高大生¥900 (要学生証提示) / 中学生以下無料 (要保護者同伴)  
※ 専門学校・専修学校は大学に準じる  
※ 障がい者手帳をお持ちの方(手帳をご提示ください)、付添者(1名のみ)無料



[主催] 佐川美術館 (公益財団法人SGH文化スポーツ振興財団)  
[後援] 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ、在日フランス商工会議所  
滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会  
[企画協力] ベルナール・ビュフェ美術館  
[協力] SGホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、佐川印刷株式会社



**ベルナール・ビュフェ Bernard Buffet**

1928年パリ生まれ。1948年、20歳にして権威ある「批評家賞」を受賞。鋭い線描とモノトーンの色彩を用いて世相を反映した作品で一躍画壇の寵児となり、抽象絵画全盛であった時代に具象絵画の地位を確立する。1952年からは毎年テーマを決めて新作を発表し、1999年にパーキンソン病が進む中で最後の作品テーマ「死」を完成させたのち、自ら人生に幕を下ろした。親日家としても知られており、幾度となく妻アナベルと共に来日した。1973年に静岡県駿河平にベルナール・ビュフェ美術館が開館、1990年には大阪梅田にある阪急三番街のシンボルマークとロゴも手掛けた。



《アトリエ》1947年  
油彩、カンヴァス 149×200cm  
ベルナール・ビュフェ美術館

## みどころ

**■ 観る者を圧倒する鋭い描線**

ビュフェ作品の最大の特徴は、鋭い線によって描かれた画面構成です。初期の作品では輪郭や背景にひっかいたような線が見られますが、その後細い筆を使ってくっきり描く輪郭線が登場し、1960年代以降は太く力強い線へ変化を遂げます。年代による変化はありますが、ビュフェの描線は観る者を圧倒し、画面の中に引き込みます。

## 広報画像 2



《狂女：死者の顔をした二人》1970年  
油彩、カンヴァス 146×114cm 静岡新聞社  
© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 X0447

**■ 多岐にわたるテーマ**

ビュフェは1952年から2000年まで、画廊との契約のもとでテーマを設定した個展を毎年開催しました。テーマは多岐にわたり、それぞれの間には繋がりを見出せないものの、ビュフェ自身の興味や関心、訪れた場所などが反映されています。本展ではテーマ展「サーカス」（1956年）や「ニューヨーク」（1959年）をはじめ、1980年に初来日した際に見聞した日本文化をモチーフに「日本」（1981年）や「相撲と歌舞伎」「静物」（1988年）を開催した際に出品された作品など、日本に所縁のある作品も展示します。



(左) 《ニューヨーク：マンハッタン》1958年  
油彩、カンヴァス 150×325cm  
ベルナール・ビュフェ美術館



(右) 《相撲：睨み合い》1987年  
油彩、カンヴァス 243×200cm  
ベルナール・ビュフェ美術館

※著作権の都合により、全ての作品画像は著作権法第47条にもとづき32,400画素以下で掲載しています。

## 展示構成

本展では全8章に分け、約70点の作品でビュフェ作品の変遷をたどります。

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1. 画家ビュフェ、そのはじまり   | 5. エコルシェ／狂女—噴き出す激情 |
| 2. ビュフェの初期絵画—室内／静物 | 6. 異国の街と文化—旅するビュフェ |
| 3. サーカス／闘牛／カルメン    | 7. 地獄／虚構／死—文学からの主題 |
| 4. 画家とその家族、愛する人たち  | 8. 新しいモチーフを求めて     |

## ベルナール・ビュフェ美術館

ベルナール・ビュフェ美術館は、ビュフェ作品を収蔵・展示するために岡野喜一郎氏（1917-1995）によって1973年に創設されました。油彩画、水彩画、素描、版画、挿画本、ポスター等あわせて約2000点のビュフェコレクションを誇っています。

住所：静岡県長泉町東野クレマチスの丘 515-57

TEL：055-986-1300



## イベント情報

※各イベントの詳細は決まり次第、美術館ホームページでご案内します。

## ● 開幕記念ギャラリートーク

日時：7月16日(水) 11時～（約40分）

講師：杉崎 有拡 氏（ベルナール・ビュフェ美術館学芸員）

## ● 講演会「ベルナール・ビュフェ——激変する芸術家としての評価」

日時：7月26日(土) 14時～（約90分）

講師：小針 由紀隆 氏（ベルナール・ビュフェ美術館館長）

## ● トワイライト・コンサート

日時：9月6日(土) 17時30分～（約45分）

出演：Lokki 大西 智子 氏（カンテレ）、久米 知比 氏（リコーダー）

## 同時開催

## 佐川美術館コレクション ベルナール・ビュフェ展

「ベルナール・ビュフェ 偉才の行方」の開催を記念し、当館が所蔵するビュフェコレクションを初公開します。



《ボードゲームのある静物》1953年  
油彩、カンヴァス 100×195cm  
佐川美術館

**●広報用画像について**

- ① 雑誌・新聞上での使用
- ② 画像サイズが 50 平方 cm 以内（トリミング・文字乗せ不可）
- ③ 付随する文字数が 400 字以内

上記の 3 条件を満たす場合に限り、本プレスリリース中に掲載している画像データ（**広報画像と記載のあるもの**）をご用意しております。画像データをご希望の方は、同封の**画像使用申込書**に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記広報担当者宛にメールでお申込ください。

当館ホームページ（<https://www.sagawa-artmuseum.or.jp/press/>）からも画像申請いただけます。

画像使用にあたり、各画像に必ず申込書記載のキャプションと著作権表記を付けてください。

画像は使用後必ず削除し、保存しないでください。WEB 上では、著作権の都合により画像はご使用いただけません。

なお、作品画像につきましては、当該展覧会の広報以外でのご使用はお断りしております。

**原稿は広報担当者まで必ずお送りください。確認に日数を要するため、お早めをお願いいたします。**

**◆交通のご案内：**お車ご利用の場合

駐車場有 70 台、美術館入館者は無料

- 名神高速瀬田西 IC から湖周道路経由（約 30 分）
- 名神高速栗東 IC から守山栗東線経由（約 30 分）
- 名神京都東 IC から湖西道路（真野 IC）・琵琶湖大橋経由（約 40 分）

鉄道ご利用の場合

- JR 琵琶湖線守山駅から路線バス「佐川美術館」下車（約 35 分）
- JR 湖西線堅田駅から路線バス「佐川美術館」下車（約 15 分）

**本件に関するお問い合わせ先**

佐川美術館（公益財団法人 S G H 文化スポーツ振興財団）

〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川 2891 TEL：077-585-7800／FAX：077-585-7810

**■企画についてのお問い合わせ：**

井上 英明（いのうえ ひであき） [h\\_inoue005@sagawa-artmuseum.or.jp](mailto:h_inoue005@sagawa-artmuseum.or.jp)

**■広報についてのお問い合わせ：**

深井 千尋（ふかい ちひろ） [c\\_fukai001@sagawa-artmuseum.or.jp](mailto:c_fukai001@sagawa-artmuseum.or.jp)

